

# 後期高齢者医療事業特別会計

留萌市市民健康部市民課  
TEL 0164-42-1805

## 総括

後期高齢者医療制度は、75歳以上の方及び65歳以上の一定の障害のある方が加入する医療制度です。都道府県ごとに設置される後期高齢者医療広域連合が保険者の役割を果たし、市と事務(各種届出の受付・保険料の賦課徴収)を分担しながら運営しています。

令和2年度決算の状況は、歳入373,062,791円に対して、歳出372,126,891円であり、歳入歳出差引935,900円の黒字となりましたが、この黒字は、出納整理期間(令和3年4月1日～令和3年5月31日)に収納した後期高齢者医療保険料などであり、翌年度へ繰り越し、全額を後期高齢者医療広域連合納付金として支出することになります。

保険料現年度収納率は、特別徴収100%、普通徴収98.7%、合計99.2%であり、今後も収納対策に取り組み、後期高齢者医療制度の円滑な運営に努めます。

## 収入

(単位:千円、%)

### ■前年との比較

- ①後期高齢者医療保険料、被保険者の増加による増
- ②国庫支出金  
後期高齢者医療事務支援システム改修に対する補助金の増
- ③繰入金 保険基盤安定繰入金の増
- ⑤諸収入  
健康診査受診率向上特別事業費補助金の増

予算科目	令和2年度			令和元年度		令和元年度決算との比較	
	予算額	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	C (A-B)	C/B
①後期高齢者医療保険料	246,452	244,996	65.7	234,751	65.6	10,245	4.4
②国庫支出金	188	188	0.1	0	0.0	188	皆増
③繰入金	122,768	122,087	32.7	118,046	33.0	4,041	3.4
④繰越金	1,388	1,388	0.3	1,196	0.3	192	16.1
⑤諸収入	5,158	4,404	1.2	4,101	1.1	303	7.4
合 計	375,954	373,063	100.0	358,094	100.0	14,969	4.2

## 支出

(単位:千円、%)

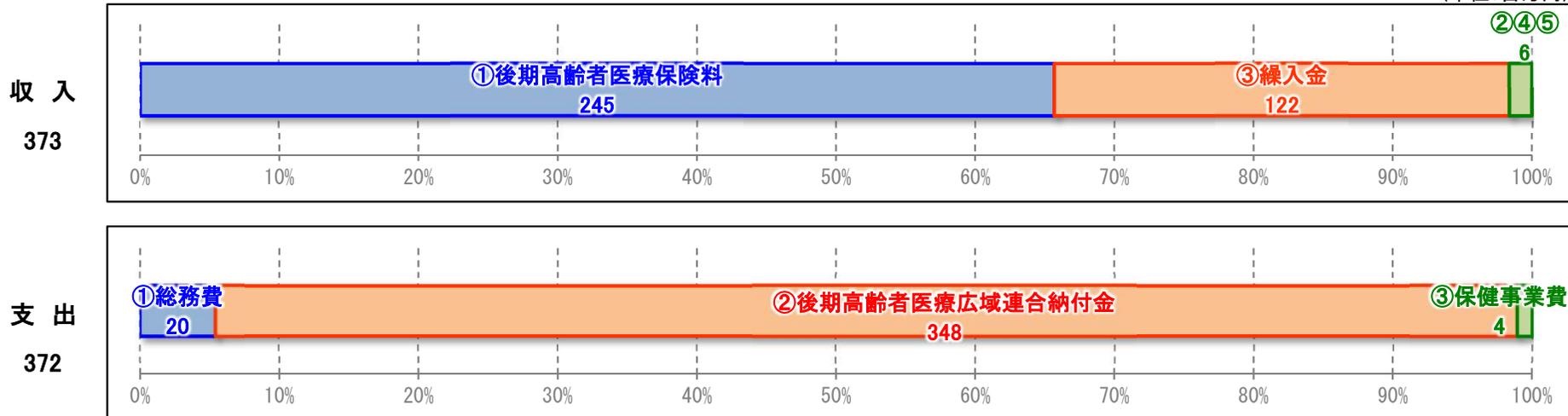
### ■前年との比較

- ①総務費  
健康管理システム改修委託料及び過年度分保険料の歳出還付金の増
- ②後期高齢者医療広域連合納付金  
保険料、基盤安定負担金、事務費負担金の増加による増
- ③保健事業費  
健康診査受診率低下のため減

予算科目	令和2年度			令和元年度		令和元年度決算との比較	
	予算額	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	C (A-B)	C/B
①総務費	20,986	20,330	5.5	19,465	5.5	865	4.4
②後期高齢者医療広域連合納付金	350,245	347,853	93.5	333,258	93.4	14,595	4.4
③保健事業費	4,623	3,944	1.0	3,983	1.1	△ 39	△ 1.0
④予備費	100	0	0.0	0	0.0	0	—
合 計	375,954	372,127	100.0	356,706	100.0	15,421	4.3

## 収支の状況（令和2年度決算）

（単位：百万円）



## 令和3年度執行状況（9月30日現在）

### 収入

#### ■収入の状況

- ①後期高齢者医療保険料 年金天引きの特別徴収と納付書で納入する普通徴収があり、ほぼ納期通りの収入となっています。
- ②繰入金 市から後期事業への繰出し(負担)で、年度末の収入となります。
- ④諸収入 北海道後期高齢者医療広域連合からの補助金で、年度末の収入となります。

（単位：千円、%）

予算科目	令和3年度収入状況		
	予算額	収入済額	収入率
①後期高齢者医療保険料	249,194	120,620	48.4
②繰入金	126,885	0	0.0
③繰越金	1	935	93,500.0
④諸収入	5,697	0	0.0
合計	381,777	121,555	31.8

### 支出

#### ■支出の状況

- ②後期高齢者医療広域連合納付金 期割ごとに保険料、基盤安定負担金、事務費負担金を北海道後期高齢者医療広域連合に納付しています。
- ③保健事業費 保健事業に係る事務費・委託料等からなり、委託料は健康診査に係る経費を、実施実績に合わせ医療機関等に支払います。

（単位：千円、%）

予算科目	令和3年度支出状況		
	予算額	支出済額	執行率
①総務費	21,318	11,587	54.4
②後期高齢者医療広域連合納付金	355,760	118,127	33.2
③保健事業費	4,599	1,733	37.7
④予備費	100	0	0.0
合計	381,777	131,447	34.4

※9月末時点で収入済額に対して支出済額が上回っていますが、繰入金の収入が年度末となるためであり、不足分については会計間の一時借入によって補っています。

※繰越金の収入率が93,500%となっていますが、今後補正を行い収入率は100%となる見込みです。